



2025年2月13日

各位

上場会社名 西華産業株式会社
代表者 代表取締役社長 櫻井 昭彦
(コード番号 8061 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役 専務執行役員
(企画管掌) 川名 康正
(TEL 03-5221-7117)

長期経営ビジョンおよび中期経営計画の最終年度目標の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月22日に公表し2023年4月20日に一部修正した長期経営ビジョン「VIORB2030」および2023年5月26日に公表した中期経営計画「VIORB2030 Phase1」の最終年度達成目標を、下記の通り上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 長期経営ビジョン 最終年度到達目標

	2030年度		
	変更前	変更後	増減額
売上高	1,300億円	1,800億円	+500億円
営業利益	65億円	120億円	+55億円
経常利益	72億円	125億円	+53億円

(2) 中期経営計画 最終年度達成目標

	2026年度		
	変更前	変更後	増減額
売上高	1,100億円	1,200億円	+100億円
営業利益	52億円	70億円	+18億円
経常利益	52億円	76億円	+24億円

2. 修正の理由

2022年度に策定した長期経営ビジョン「VIORB2030」を基とし、その前半部分を担い2026年度を最終年度とする中期経営計画「VIORB2030 Phase1」の検討を進め、2023年5月に基本戦略や数値目標等を公表いたしました。

中期経営計画に基づき事業を進めるなか、三菱重工業の火力・原子力事業の一次代理店となったことなどにより基礎収益力が向上し、加えて連結子会社各社の業績が好調に推移したことから、初年度の2023年度において中期経営計画の最終年度の目標数値を達成、また本日公表した通り2024年度も同様に目標を達成する見込みであります。

以上の実績を踏まえ、今後の更なる事業拡大と成長を目指し、長期経営ビジョンならびに中期経営計

画における売上高、営業利益、経常利益の最終年度目標を上方修正いたします。なお目標達成に向けた具体的な取り組みやキャッシュアロケーション等につきましては、来年度に速やかに公表する予定です。

※ 計画・目標につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上

長期経営ビジョンの中期経営計画および数値目標

- ✓ 三菱重工業の火力・原子力事業の一次代理店業務開始による基盤収益力の向上
- ✓ 連結子会社*の安定成長
*Tsurumi(Europe)GmbH、日本ダイヤバルブ、セイカダイヤエンジン
- ✓ TVE、日本フェンオールの持分法適用会社化

- ✓ オーガニック事業（エネルギー、産業機械、プロダクト）の成長
- ✓ ノン・オーガニック事業への取り組み（事業投資、M&A）



中期経営計画「VIORB2030 Phase1」 → 長期経営ビジョン「VIORB 2030」

101期
2023年度

102期
2024年度

104期
2026年度

108期
2030年度

中計基本方針を引き続きベースとし、以下の戦略により更なる企業価値の向上を図ります。

事業戦略 × 経営戦略

収益力の向上 

投下資本の効率運用 

成長領域（エネルギー・プロダクト事業）での事業拡大
既存事業の補完的M&Aの加速

キャッシュアロケーションの検証
事業投資・人的資本投資・株主還元を最適化

低成長・低収益事業の構造改革断行
必要な経営リソースを機動的に投入し、収益性を改善

人的資本経営の高度化
人材の確保やDX化・ノンコア業務BPO推進などによる労働生産性向上への取り組み
健康経営優良法人の認定および社員の健康増進や職場環境改善に向けた取り組み強化

グループ会社の耐性強化
グループ会社における事業環境変化のリスクに対する低減策の立案と実行